



## 北京オリンピック国別出場枠情報

2007年5月31日現在

### 日本は、女子は3名、男子は2名

2008年8月に行われる第29回北京オリンピックのトライアスロン競技出場資格について、2007年5月20日現在の日本の状況についてお知らせします。

北京オリンピックの出場資格は、ITUが定めるレース（ITU世界選手権・ワールドカップ・大陸別選手権・コンチネンタルカップ）で得られるポイント（北京オリンピック出場ポイント）を集計して決まります。このポイントの集積期間は、2006年6月1日～2008年6月15日となっています。

いま現在、日本選手の獲得した出場ポイントから、女子は3枠（5位）を確保し、男子は2枠（16位）となっています。この国別枠の順位は、ITUから発表されるものではなく、あくまでも計算上のものですが、この枠で配分されることには変わりはありません。

北京オリンピックの出場枠は、国別で最大3枠と決められていますから、女子は最大枠を確保しています。男子は、今後、3枠を獲得する方向でレースを戦うことになります。

別表にあるように、現在、3枠は8位までに国に、2枠は18位までの国に与えられます。男子は、3枠は8位までの国に、2枠は17位までの国に与えられていますから、少なくとも現在の位置より下がらないようにしたいものです。

女子では、庭田清美（アシックス・ザバス）、上田藍（シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター）、関根明子（NTT東日本・NTT西日本）の3名が効果的にポイントを獲得したことが現状を支えています。

男子は、田山寛豪（チームテイケイ）、山本良介（トヨタ車体）の2名がポイントを獲得していますが、さらに3枠を確保するには、もう1名のポイントゲッターが必要というところです。

来月、6月1日（金）～3日（日）にかけて開催される2007ASTCアジアトライアスロン選手権から、ITU世界選手権ハンブルク大会（9月2日）、ITUワールドカップ北京大会（9月16日）、日本選手権東京港大会（10月21日）、そして各地で行われるITUワールドカップ・コンチネンタルカップなど、出場ポイントを獲得できるレースが続きます。今後、漸次、北京オリンピック出場の情報を提供していきたいと考えています。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合（JITU）オフィシャルスポンサー&amp;オフィシャルパートナー

NTT東日本 NTT西日本

Kyorin

JAL

arena

Amino-Value

SOYJOY

asics

TAIHEI

resortrust

EKS

日通水産

Gakken

文化総合研究所  
BUNKA SOGOU KENKYUJO

ASAHI RACING

B&amp;G

nl



●2007ITUワールドカップでの日本選手のおもな戦績（16位以内の選手）

庭田清美 ムルラバ7位、石垣14位  
井出樹里 リチャーズベイ7位  
関根明子 ムルラバ11位、石垣16位  
上田藍 リチャーズベイ14位  
田山寛豪 石垣12位  
山本良介 ムルラバ16位、石垣14位  
細田雄一 リチャーズベイ16位

●北京オリンピック出場資格ランキング（2007年5月末日時点）

ランク	女子	男子	出場枠
1位	AUS	NZL	3枠
2位	NZL	GER	3枠
3位	GER	USA	3枠
4位	CAN	FRA	3枠
◎ 5位	日本	SUI	3枠
6位	SUI	GBR	3枠
7位	GBR	AUS	3枠
8位	ESP	ESP	3枠
9位	USA	ESP	2枠
10位	FRA	KAZ	2枠
11位	AUT	CZE	2枠
12位	CZE	ITA	2枠
13位	RSA	UKR	2枠
14位	CHN	RUS	2枠
15位	POL	BEL	2枠
◎16位	ITA	日本	2枠
17位	RUS	DEN	2枠
18位	HUN		2枠

<この記事へのお問い合わせ> (社)日本トライアスロン連合(JTU) 事務局 TEL03-5469-5401 (代)

**広報担当：090-3204-3126／090-1452-0828**



社団法人日本トライアスロン連合 東京都渋谷区渋谷 2-9-10 青山キングビル 3F

TEL:03-5469-5401(代) FAX:03-5469-5403 Email:jtuoffice@jtu.or.jp URL:http://www.jtu.or.jp/